

子ども食堂の実態と展望について

指導教員 定行まり子 教授

子ども 貧困 ひとり親
 多世代交流 支援 地域

1 研究の背景と目的

近年、子どもの貧困率が社会問題となっている。これに対して、内閣府は 2014 年 8 月に「子どもの貧困対策に関する大綱」を閣議決定した。教育及び生活の支援に該当するような取組みは、この 2,3 年で全国的に広まっている。特に、NPO 法人を中心に子どもに健康的な食事と食事の場を無料、または低価格で提供する「子ども食堂」という取組みが急増している。本稿では、「子ども食堂」における支援の実態を把握し、地域における「子ども食堂」の意義と、今後の子どもの貧困対策と居場所に対する課題を明らかにすることを目的とする。

2 調査概要

以下の通りである。

調査	概要	対象
参与型調査(表 1)	子どもや支援者の動き、空間利用の観察	都内 9 軒の子ども食堂
ヒアリング調査(表 1)	子ども食堂の利用実態について聞き取り	都内 5 軒の子ども食堂代表者
アンケート調査(図 1)	インターネット HP『こども食堂ネットワーク』に 12 月 1 日現在掲載の子ども食堂の、送付先不明(3 軒)を除く 125 軒に送付し、34 軒の有効回答を得た	全国の子ども食堂

3 全国の子ども食堂の実態

3-1 開催場所

開催場所として最も利用されている所は、公民館・地域交流施設等の公共施設であり、次いで、店舗（飲食店）、宗教施設が挙げられる。それぞれの具体的な事例内容については、図 2 に示す通りである。ヒアリング・アンケート調査より、公民館等・地域交流施設は定期的・継続的に利用できること、店舗は営業許可を取る必要がないこと、宗教施設では大きな調理場があり施設管理者の同意を得やすいことが理由として挙げられる。

3-2 開催頻度

開催頻度は月 1 回、月 2 回、週 1 回の順に多く、イベント型としている食堂が多い。このことから、無理のない継続的な運営が重要であると考えられる。

3-3 主催者

主催者は、NPO 法人、個人の順に多いが、NPO 法人に関しても 11 団体においては 40 人以下と少人数による活動であり、個人、または少人数でも始めることができる活動であることが伺える(図 3)。

表 1.調査概要

食堂名	所在地	開催場所	参与型	ヒアリング
A 子ども食堂	豊島区	民家(自宅)	2015/12/16	2015/12/16
B 子ども食堂	品川区	会館	2016/8/1	—
C 子ども食堂	北区	地域交流施設 (空き中学校転用)	2016/8/5 2016/10/21	2016/8/5
D 子ども食堂	杉並区	教会	2016/8/6	2016/8/6
E 子ども食堂	板橋区	レンタルスペース	2016/9/9	2016/10/28
F 子ども食堂	大田区	地域交流施設	2016/10/19	—
G 子ども食堂	目黒区	住区センター	2016/10/20	2016/10/20
H 子ども食堂	新宿区	地域センター	2016/10/26	—
I 子ども食堂	台東区	学童保育所	2016/10/27	—

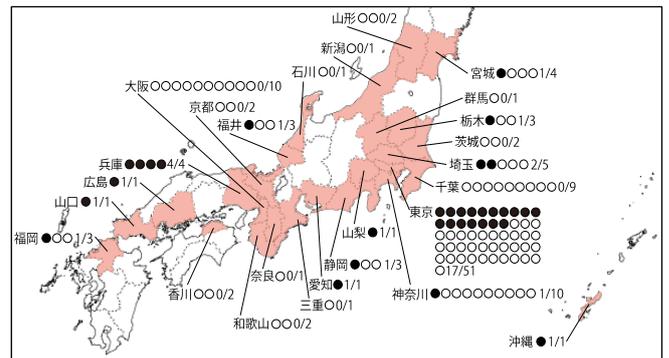


図 1.アンケート送付先及び有効回答数

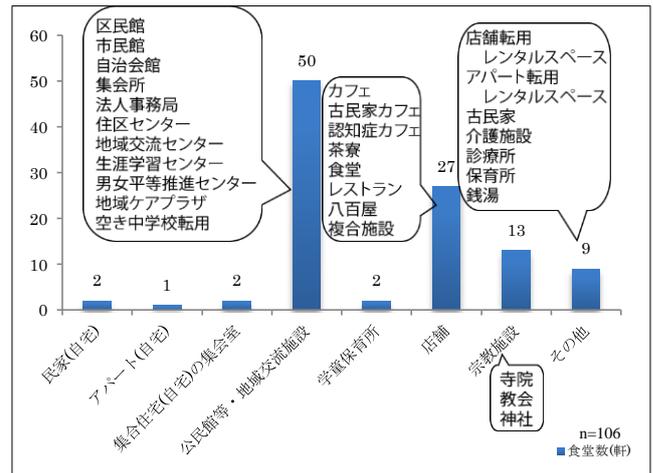


図 2.開催場所(参考:「こども食堂ネットワーク」、アンケート調査)

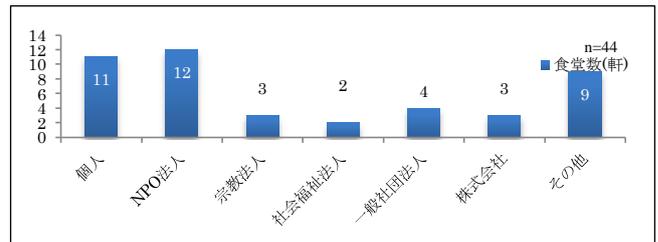


図 3.子ども食堂主催者(参考:子ども食堂各ホームページ等、アンケート調査)

3-4 料金

一食あたりの料金について図 4 に示す。こどもは無料、おとなは 300 円が多い。なお、こども料金を無料としている食堂が多いことから、子どもに対するなんらかの支援をしたいという活動主旨が伺える。

3-5 目的

子ども食堂開設理由は、地域交流、子どもの貧困対策、食育活動の順となっている。目的を地域交流とし、対象者を広く構えることにより、より多くの貧困家庭に参加してもらいたいという思いが読み取れる(図 5)(表 2)。

4 空間利用

ヒアリング調査及びアンケート調査によって、十分に聞き取りができたもの及び開催場所の図面を得ることができた食堂の中から特徴のあるものを取り上げる。調理場の広さがボランティア受入人数に関わっており、比較的教会、住区センターの調理室、中学校の家庭科室では主催者側として関わっている人が多い。一方、民家でも調理場、食事場とは別に勉強や遊ぶことができる場を設けることで、多くの訪問者を迎えることができる(表 3)。

5 まとめ

子ども食堂開催にあたって重要なことは、調理場のある場所の定期的な確保と、子どもの社会問題解決に対する強い志である。子どもに対する継続的支援を考え、開催頻度、料金は無理のない設定をするべきである。

【参考文献】

- 子ども食堂ネットワーク <http://kodomo-shokudou-network.com/>
- 貧困統計ホームページ <https://www.hinkonstat.net/>
- 平成 27 年版 子ども・若者白書 http://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/h27honpen/b1_03_03.html

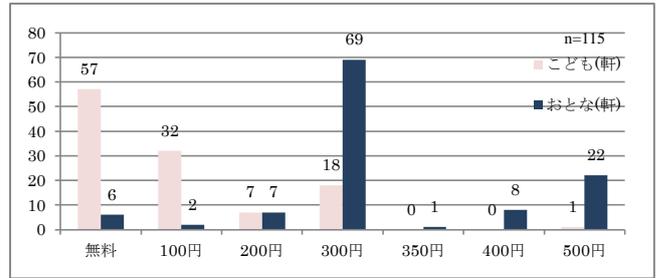


図 4. こども料金とおとな料金の比較(参考: 「子ども食堂ネットワーク」、アンケート調査)

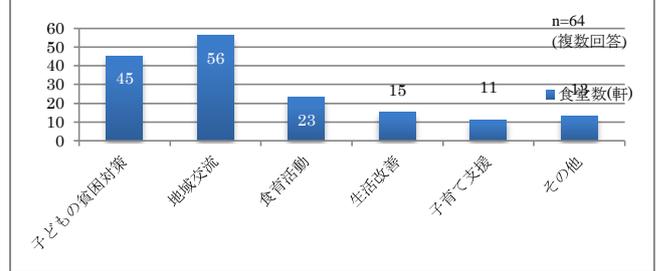


図 5. 子ども食堂開設の目的(参考: 「子ども食堂ネットワーク」、アンケート調査)
表 2. 主な目的の概要(アンケート調査に基づき作成)

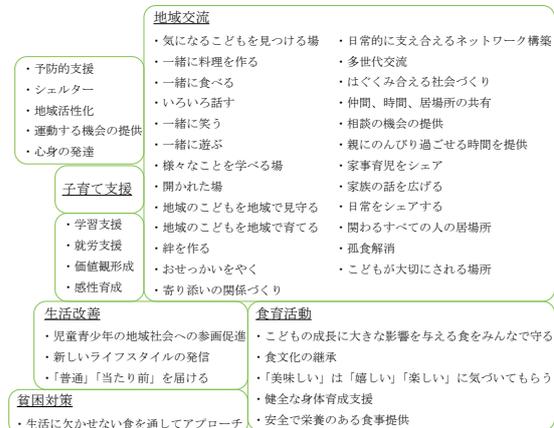


表 3. 調査対象概要(参考: 「子ども食堂ネットワーク」、アンケート調査)

食堂名	A 子ども食堂	C 子ども食堂	D 子ども食堂	G 子ども食堂
所在地	豊島区	北区	杉並区	目黒区
開催場所	民家(自宅)	地域交流施設(空き中学校転用)	教会	住区センター
立地	閑静な住宅街	周辺は団地	隣に中学校・高校	閑静な住宅街
初回開催日	2013/3/20	2016/5/21	2016/5/21	2016/3/17
運営者	個人	個人	個人	ボランティア団体
訪問者	約 50 人。内ボランティアが約 15 人。	約 50 人。内ボランティアが約 20 人。	約 50 人。内ボランティアが約 20 人。	約 70 人。内ボランティアが約 20 人。
改修の有無	○調理場	×	×	×
図面	<p>S=1:400</p>	<p>S=1:500</p>	<p>S=1:600</p>	<p>S=1:600</p>

1 都3県の子ども食堂（「子ども食堂の名称」(地域名) [開設場所])



子ども食堂開催場所マップ (参考: 子ども食堂ネットワーク <http://kodomoshokudou-network.com/> をもとに作成) 2016年6月現在